

会 議 録

|   |  |              |   |      |    |
|---|--|--------------|---|------|----|
| 会議の名称   | 第18期東村山市社会教育委員会議（第14回）   |              |   |      |    |
| 開催日時  | 平成22年9月10日（金）午後7時00分～9時00分   |              |   |      |    |
| 開催場所  | 東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室   |              |   |      |    |
| 出席者<br>及び欠席者  | <p>出席者：<br/>（委員）神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）森</p>                             |              |   |      |    |
| 傍聴の可否   | 傍聴可能   | 傍聴不可の場合はその理由 | / | 傍聴者数 | 1名 |
| 会議次第  | <p>1．あいさつ</p> <p>2．協議事項<br/>（1）今期研究テーマ提言書の概要について</p> <p>3．その他<br/>（1）第16回会議日程について<br/>（2）平成22年度地域における家庭教育支援チームの「担い手」養成研修について</p> <p>4．閉会</p> |              |   |      |    |
| 問い合わせ先  | <p>教育部社会教育課生涯学習係<br/>担当者名 神山・野沢・野崎<br/>電話番号 042-393-5111（内線3513）<br/>ファックス番号 042-397-5431</p>  |              |   |      |    |
| 会 議 経 過   |  |              |   |      |    |
| <p>1．あいさつ<br/>課長<br/>今月から社会教育関連行事が多くなり、明日も「あいさつ・ふれあいチャレンジプロジェクト」が開催される。無事に終了するよう努めたい。<br/>議長<br/>本日より今期研究テーマ提言書の具体的な内容の審議に入っていくたいので、皆さんにご協力いただきたい。</p> <p>2．協議事項<br/>（1）今期研究テーマ提言書の概要について<br/>議長<br/>今期研究テーマ提言書の概要を皆さんに事前にメール等で送付し、内容を確認していただいたところである。本日、提言書の内容の審議に入るので、皆さんのご意見を伺いたい。</p> |  |              |   |      |    |

A 委員

今回の研究テーマを決定するにあたり、社会教育関連団体を対象に調査を行ったところであるが、各団体の原点を知った上での活動が求められているのではないかという印象を持った。時代は変わっても各団体の理念は大事にするべきである。

B 委員

従来行われていた指導者養成講座が開催されなくなってしまった。若者がもっとリーダーシップを取れるシステムの再構築が必要ではないか。

C 委員

若者に企画立案してもらい、それを成果につなげるなど長期的なビジョンが必要だと思う。

B 委員

本会議で指導者養成講座復活を提言してもよいのではないか。

A 委員

社会教育関連団体の活動を行政がサポートしていくことについても提言してよいのではないか。

C 委員

社会情勢が変化していく中、価値観も多様化してきている。若者の気持ちを真摯に汲み取る姿勢も必要だと思う。

D 委員

世代交代が進まない背景の一つに価値観の違いによる軋轢があると思う。ハード、ソフト、メンタルの三つ巴の取り組みが必要ではないか。

E 委員

社会教育を進めていくためには専門家やコーディネーターが必要である。行政の中でこのような方たちの位置づけをするべきではないか。また、学校の中にもっと社会教育を取り入れ、学社協働の理念を広めるべきである。

F 委員

そのためには、学校と社会教育関連団体との連携や認識が必要である。従来、学校には社会教育の認識が不足していたように思うが、土曜講座に多くの若者が参加するようになり、社会教育が徐々に浸透しつつあると思う。

G 委員

自治体によっては複合施設を設けるなど社会教育の流れが変わってきている。

副議長

本市には複合施設が少なく、施設をはじめとするハード面で後れを取っていると思う。市の公民館に利用者用の駐車場がないなど、不便さも露呈している。

議長

近年、公民館で開催される講座の頻度が減ってきており、貸し館業務の意味合いが強まってきていると思う。

H 委員

公民館の役割がふれあいセンターに流れている傾向があるのではないか。

## B 委員

公民館は社会教育の拠点としての役割を果たすべきところではないか。もっと発信する力が必要だと思う。公民館を社会教育活動の場として見直すようはたらきかけをすべきか。

## 議長

今回、ハード面についての意見が出されたので、提言に組み入れていきたい。その他、概要の中で表現を改めるべき箇所があったら、次回までに指摘していただきたい。

## 3. その他

### (1) 第16回会議日程について

- ・第16回会議 平成22年11月25日(木)午後7時～教育委員会室  
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

### (2) 平成22年度地域における家庭教育支援チームの「担い手」養成研修について

- ・日時 平成22年10月29日(金)および11月5日(金)  
午前9時30分から午後4時30分まで
- ・会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
参加を希望される方は各自で申込をしていただきたい。

## 5. 閉会